

中2学年通信 夏の集い報告号

2011.07.07.(木)発行/8号

夏の集い無事終了

全員無事に真っ黒に日焼けした顔で帰ってきました。この行事は中2で唯一の宿泊行事であり、多くの生徒達が楽しみにしていました。天候が心配されましたが、幸い全行程を全員そろって行うことができたことを大変嬉しく思っています。

今回の行事の目標は、まさに学年目標「自律・自立・たくましく」を育てることでありました。わずか一泊とはいえ、次から次へと休みなくプログラムが実施されていき、気温も高く体力が必要な取り組みが行われる中、弱音を吐いてしまう生徒が出ないかと心配していましたが、全ての取り組みを全員が楽しみながらやり遂げることを中2の生徒達は見事に成し遂げてくれました。

マキノサニービーチでの昼食。カンカン照りの強い日差しの中、早々と昼食をすませ、湖岸に足をつけて遊ぶ姿が見られました。後半にはすでに水浸しになっている生徒や先生（誰や?）もおり、元気なスタートを象徴していました。

カヤックの始まり。1人乗り2人乗りに分かれて、湖にこぎ出し、パドルを巧みに扱いながら湖面を風を切って進んでいました。歓声を上げたり、水をかけ合ったり、競争したりと本当に爽快な気持ちのいいプログラムでした。ちなみに誰1人として転覆する人はいませんでした。

いかだ作り。タイヤチューブとロープと木ぎれを渡され、グループ毎に協力していかだを組み立てると、いざ琵琶湖に出航。途中ほとんどの生徒が琵琶湖に転覆、けれど炎天下の暑さの中、むしろ琵琶湖につかることが気持ちよく、皆で楽しく水遊びもできました。



バスフィッシング。最初はミミズを釣り針に付けることができない女子や、釣った魚をとることができず悲鳴を上げている人が多かったのですが、慣れてくると自らミミズを付け、ブラックバスのいそうなところをねらって積極的に釣りに行くようになりました。1人で5匹ぐらい釣った名人もいれば、1匹も釣れなかった人もいました。しかし、魚釣りの楽しさを味わうことができたと思います。

飯盒炊さん。もうこの段階で相当疲れており、ここからさらに自分たちでご飯をつくらなければならない状況は、しんどかったと思います。しかし、つくらないと食べられません。慣れない手つきで食材を切り、薪で火をたいてその上で煙にまみれながら、やっとの思いで作り上げることができました。どんなにみすぼらしくても自分たちでつくった料理はやはりおいしい！誰1人として料理の味に不満を言う人もいず、少し硬いご飯も、ねばねばのチャーハンも、形の悪いお好み焼きや、もやしだけの焼きそばも、自分たちにとってはかけがえのないごちそうでした。



翌日の**マウンテンバイクツーリング。**雨が少し降ってきましたが、途中でやんで、最後まで行えました。新緑の道をみんなで走るサイクリングはとっても楽しかったです。そして、何よりも嬉しかったのは、自転車に乗ることができず、学校で数回にわたる訓練の後、やっとの思いで何とか乗れるようになった生徒が、周りのみんなのサポートにより見事完走できたことです。少し遅れてマキノピックランドにたどり着いたその生徒にクラスの生徒達が声を掛け、笑顔で迎えてくれました。その生徒も本当に自信と充実感に満ちあふれた表情をしていました。「自転車が楽しい」と言ってくれたそのわずかな言葉に、我々も感動を覚えました。あの時に食べた手作りリンゴジュレートの味はきっと忘れないでしょう。

最後の**魚つかみ**も楽しくも残酷で、命の意味を考えるきっかけにもなったのではないのでしょうか。



この2日間、体調をこわす者も1人も居ず、時間通りに行程をこなし、弱音を吐くどころか、みんな笑顔で、むしろ余裕でやり遂げることができた姿に、少しではあるが確かにたくましく自立した人への成長を感じ取ることができました。つくづく子どもは親元を離れた集団生活の中で鍛えられ育つことができると我々も学ばせてもらった2日間でした。

保護者の皆様には様々なところでご心配をおかけし、またサポートいただきありがとうございました。今後ともつまづきながらも一步一步成長していく生徒達の姿を温かく見守って頂きたいと思います。